



風と緑と太陽



城山っ子にはたくさんの応援団がいます

校長 野田 恵美

今年度のスタートから2ヶ月が過ぎ、子供たちの活動も様々な広がりを見せています。先日の学校公開では、数多くの皆様に参観いただきありがとうございました。また、「子供たちと一緒に発見名人になりませんか？」の取組に数多くの方にご協力いただき、子供たちのよいところ、がんばっているところをたくさん発見していただきました。いただいた「発見！」はHP等で紹介していきます。

さて、学校の活動もさることながら、地域の行事も活発に行われています。自分自身、地域の方々と直接会ってお話できる機会が増え、嬉しく思っています。互いに顔を合わせて挨拶をしたり、言葉を交わしたりするのは、やはりよいものです。城山小学校自治会総会、後援会総会、校区社会福祉推進協議会など各会に参加して共通で感じることは「子供たちには応援団がたくさんいる」「見えないところで支えていただいている」ということです。

後援会の皆さんは、まさに「後ろからそと子供たちを応援する会」として毎年、教育活動・環境整備・安全対策に必要なものを考え、多くの面で支えてくださっています。昨年は、大型絵本や発表用のボード、移動式パーテーションを寄贈していただきました。熱中症対策や感染対策の物品購入費用もサポートしてもらっています。

スクールガードさんをはじめ、「かけこみ110番」「こども110番」に登録していただいている方々は、子供たちの登下校の安全に力を貸してくださっています。みらい子育てネットの皆さんには、1年生用に交通安全マスコットを教育活動では、3年生の地域学習で伝統芸能の継承として、棒の手の講師を地域の方をお願いしています。



子供たちには、見えないところで数多くの応援団に支えてもらっていることを知り、次に「自分が地域のためにできることは何か」を考えられる子になってほしいです。そして、できることから始められる子になってほしいと思います。私たち教職員も含め、城山校区で活動する一員として、大人も子供も、できるときに、できることを1つずつ重ねていけるとよいのではないのでしょうか。

より一層、地域をパワーアップさせるために、誰にでもすぐにできることがあります。それは、「明るい挨拶の声と笑顔を増やすこと」です。ご家庭でも何ができるかな？と、話題にしてみてもいいかもしれません。



■ 安全な生活について考えてみましょう ■ 自転車の乗り方・ルールと熱中症対策

※ 城山小校区は坂道やカーブ等も多く、交通事故が心配されます。自動車に乗っていて、正面から自転車がすごいスピードで走ってきて、ドキリとする場面もあります。近年、自転車のルールも改正があり、通行する側やヘルメット着用等、大人も子供も気をつける点が多くあります。6月にはPTAによる自転車点検カードが配布されます。交通事故の被害者にも加害者にもならないために、ぜひ、おうちの方も一緒に見直してみませんか。

※ 本校では、熱中症対策のため、日傘やネッククーラーの使用を認めています。下校時刻は特に暑く、地面の照り返しも強い時間帯です。日傘の安全な使用方法やネッククーラーの扱いについてご家庭で十分にお話しいただき、必要に応じてご使用ください。

ご家族一緒に挑戦してはいかが？
警視庁：自転車の通行方法等に関する〇×クイズ サイト ↓

